

本時のねらい

- ・針に糸を通したり、糸を結んだりなどの微細運動を通して、指先の感覚を鍛える。
- ・本返し縫いを使って、自分の作品をつくる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・玉結びや玉止め、本返し縫いの方法などを、ロイノート・スクールのヒント動画を見て、前時までの学習を思い出しながら自分のペースで活動できる。
- ・動画を視聴することで、もう一度見たい場所や一時停止したい場所を選ぶことができ、自分でヒントを選択する練習になる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習支援アプリ（ロイノート・スクール）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (3分)	○今日の活動を知る 「さいほう名人になろう」 【写真1】	
展開 (37分)	○針に糸を通し、縫い物の準備をする。 ○前に学習した本返し縫いを思い出して、練習する。 ○本返し縫いを使って、作品作りにとりかかる。 【写真2】	○ヒント動画を見ながら、自分のペースで作業を進めることができる。 ※ヒント動画…玉結び、玉止め、本返し縫いのやり方の見本を教員が解説しながら撮影したもの ○自分の見たいところに戻したり、一時停止などもできる。
まとめ (5分)	○作品を見ながら、ふりかえりをする。 【写真3】	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】本時の流れを聞いているようす



【写真2】ヒント動画を見ながら本返し縫いを練習しているようす



【写真3】作品の本返し縫いの強度をたしかめながらふりかえりしているようす

児童生徒の反応や変容

- ・ものづくりが好きなこともあり、とても集中して作業することができていました。針に糸を通したりする作業は、これまでも何回も練習を重ねてきたことなので自信もつき、集中して一人で作業していました。本返し縫いになると、動画を何度も見直して、縫い方を思い出しながら作業を進めていました。それでもわかりにくい所はやり方を聞いてくるほど熱心に取り組んでいました。
- ・作品づくりでは、動画を見ながら練習した本返し縫いを使って、真剣に、時には楽しそうに作業をしていました。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・家庭科の授業で使われていたヒント動画を使って、自立活動につなげました。くりかえして見れること、自分でわからない所に戻れることがヒント動画の良いところです。また、この動画は資料箱に入れてあるので、いつでも自分で取り出してみることができます。
- ・他の授業でも、ヒント動画を使うことで、学びがより児童の生活につながっていくきっかけになると感じました。